

WRBB-SDWF Ver1.0基板 説明資料

山本三七男

WRBB-SDWF基板



特 徴

WRBB基板に接続して、Serial3(7、8番ピン)のシリアル通信を利用してWiFi通信させることができます。

低損失3.3Vレギュレータ搭載。入出力電位差約0.18V、最大800mAの出力が可能です。

また、マイクロSDカードスロットも搭載し、ファイルの読み書きも可能です。

WRBB-SDWF基板



表



裏

WiFi基板

ESP-WROOM-02

(ESP8266/Espressif Systems社製)

レギュレータ

NJM2845DL1-33 (新日本無線社製)


電圧3.3V、最大800mA

入出力電位差 約0.18V

入力最大定格 14V

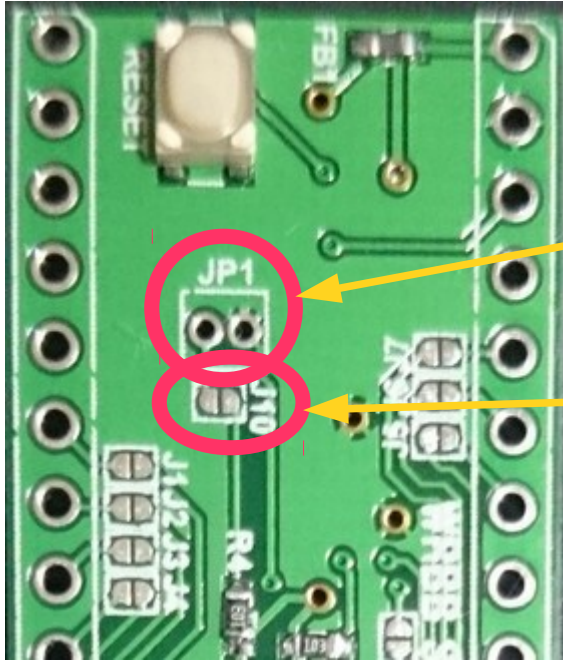
ピンアサイン

N.C.	5V
N.C.	GND
N.C.	RESETボタン
SD SW1	3.3V
SD CS	J7有効時IO14 / N.C.
J1有効時IO16 / N.C.	J6有効時IO16 / N.C.
J2有効時TOUT / N.C.	J5有効時IO13 / N.C.
J3有効時IO5 / N.C.	J8有効時IO2 / N.C.
J4有効時IO4 / N.C.	SD CLK
ESP8266 RXD	SD MISO
ESP8266 TXD	SD MOSI
N.C.	J9有効時IO15 / N.C.



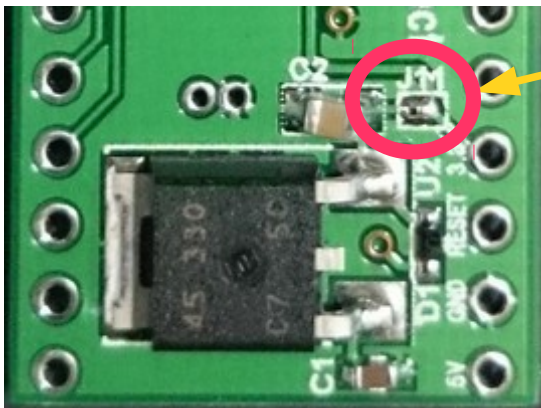
ジャンパの説明

J1～J9 オンにすると、ピンに接続するのでIOを有効に利用することができます。



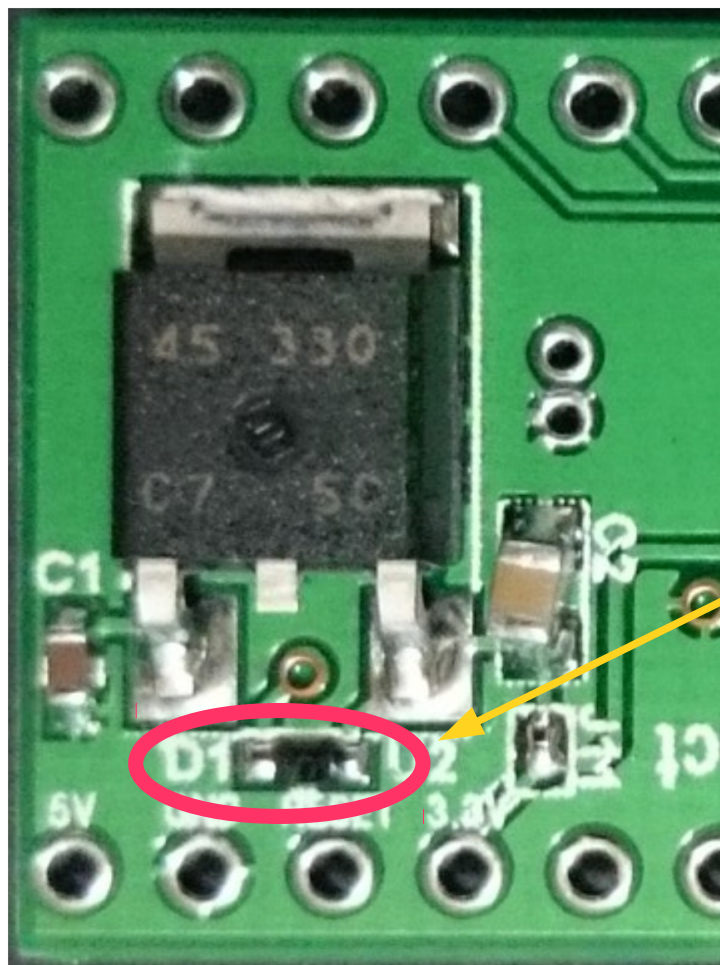
JP1 オンにすると、ESP8266がUARTダウンロードモードとなり、ファームの書き換えができる。

J10 常にオンにしておく。
プルアップされてESP8266がフラッシュブートモードとなる。



J11 オンにすると、レギュレータの3.3V出力が回路の3.3Vに接続され、レギュレータによる電力供給が可能となる。

基板補足説明



D1

保護ダイオードRB751S-40は、D1の文字側が
カソードです。

D1
RB751S-40

